

令和3年度第2回伊勢市社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議 会議録

- 1 日 時 令和3年11月25日(木)15時30分～17時30分
- 2 場 所 小俣公民館3階講堂
- 3 出席者 委員
- 寺田 厚 (伊勢地区医師会)
 - 北河 新松 (伊勢文化サークル協会)
 - 竜田 和代 (伊勢市女性団体連絡協議会)
 - 御村 聡美 (伊勢市PTA連合会)
 - 辻井 幹人 (連合三重伊勢志摩地域協議会)
 - 山本 麻里 (伊勢市文化協会)
 - 田中 信光 (伊勢市青少年育成市民会議)
 - 川口 京子 (伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会)
 - 安田 悦子 (学識経験者)
- 事務局
- 鈴木 光代 (伊勢市教育委員会事務局事務部長)
 - 山口 真司 (社会教育課長)
 - 増田 研一郎 (文化政策課長)
 - 沖塚 孝久 (スポーツ課長)
 - 阿部 暖 (社会教育課課長補佐兼係長)
 - 山本 実咲 (社会教育課主事)

4 概 要

- (1) あいさつ (伊勢市教育委員会事務局事務部長 鈴木 光代)
- (2) 社会教育委員の役割認識等に関する実態調査報告に関する意見交換
(三重県社会教育研究会 研究リーダー 岡島久美子様)

質疑応答

岡島様	調査は、各市の社会教育委員の日ごろの思いや悩みなどを回答していただいた。経験年数別にみると、委員になって2年未満の方は、活動の方法がわからないとの意見が多かった。あて職で委員になった方が多かったがそれは悪いことではない。選ばれたのは普段活動されているということ。会議は緊張するかもしれないが、苦にせず、そこで得たことを周りと共有してほしい。次に2～4年未満の方の回答では、自分是不勉強なので役割を果たせないと思っている方もいた。これは私も感じた経験がある。あとは、何も引継ぎがないまま自分に役が回ってきたので会議で何もわからず困ったとの声もあった。4～6年未満の方は、少しずつ活動も進み、もっと活動したいと感じておられる方も多いが、教育委員会との接点がなく、地域の課題がわからないとの回答もあった。そのほか、委員は形式的だという回答や、認知度が低く中途半端になっているとの回答もあった。10年以上務めている方でも、何をしたいのかわからないという声もあった。みなさんも同じように考えている方もみえるかもしれない
-----	--

	<p>い。この結果を受け、研究会としては、わかりやすいガイドブックを作ったりしていきたい。ここで委員の皆さんの意見を伺いたい。</p>
委員	<p>私もあて職で今年から参加している。前任者からの引継ぎもなく、社会教育という言葉も初めて聞いたくらいで、参加していいかと迷った。でも、今話を聞いて、自分がスポーツ推進委員としてやっている地域の子どもや大人との活動（ダンス・山歩き）が社会教育の一端を担っているかと思えた。</p>
岡島様	<p>伊勢市には、全国大会で表彰された委員さんや、長年活動されている委員さんがいる。わからないことがあればぜひ相談してみしてほしい。</p> <p>その他、他市では勉強会をしている。今回は会議の中でこの時間をとってもらっているが、委員の皆さんの有志の集まりに呼んでもらってもよかったかなと思う。津市や鈴鹿市の委員は会議の前に自主的に勉強会をしている。そこまで事務局にお願いするわけにはいかないが、部屋は貸してくれるかもしれない。自分たちが社会教育とは何かと理解し腑に落ちていないと、次に進めない。</p> <p>川口委員はスポーツで活動されているが、普段から出てきた課題を整理し解決しているのではないかと。それが社会教育。</p>
委員	<p>他市と交流会をしないといけない。社会教育研究大会三重県大会へ参加するときに、大台町では委員全員でバス移動し、そのバス内で交流会をしている。</p> <p>また、社会教育委員の会議だけでなく、地域でのイベントなどに社会教育委員が出席したり、市長・副市長・部長・教育委員と話しをしたりする機会を設け、地域や子どもたちの現状を知らないといけない。他市の視察も必要。</p>
岡島様	<p>一つお伝えしたいのは、そういうことを行政に振らず、委員の皆さんで企画してほしい。委員さんの活動団体から「今度こんなイベントをするので見に来て」とお声がかかれば見に行きたくなると思う。</p>
委員	<p>コロナが流行する前に視察の提案をして、給食センターに行った。そして、私たちは「公民館運営審議会委員」でもあるので公民館の視察も提案したが、それは叶わなかった。委員長は、少子化問題を解決するためには、中高生から問題意識を持つことが大切といわれるので、それを伝える会を開催してはと提案したが、それも叶わなかった。</p>
委員	<p>コロナ禍以前はいくつか先進地視察にも行ったが、コロナで中止していた。コロナが収束したら、またいろいろ提案していきたい。</p>
岡島様	<p>視察に行った後は、行けなかった委員の方にも内容を共有してほしい。行政が企画するだけでなく、委員の方から発案してほしい。行政が参加すると予算がいくらかつくかもしれないが、基本は自分達だけでも実施してほしい。三重県下でもそういう市町は多い。視察先で実際の活動を見せてもらおうと、これが社会教育かと実感することがあり、その積み重ねが大切。</p>

	<p>まずは伊勢市で交流してもらい、皆さんの活動をよく知ることからでは。委員長のお話を聞くだけでも勉強になることはたくさんある。</p>
委員	<p>子どもたちの意見をすくい上げることが何よりも大切だと考えている・</p>
岡島様	<p>自分たちでやろうよ、自分たちで何ができるか、そう考えてほしく、研究会を立ち上げた。社会教育委員は地域や子どもたちの隙間に入っていきやすいと考えている。そこに悩みや問題があるようであれば、その隙間に入っていって一緒に考えてほしい。若い委員はわからないことがあったら何でも聞いてほしいし、ベテランの委員は若い委員を育ててほしい。もっとお願いしたいのは、障がいのある方やお子さんに目を向けてほしい。また、次世代の人たちとの交流を持ってほしい。皆さんのご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>私もあて職でここにいる。普段は女性団体の活動として、小学校で児童と一緒に花植えをしている。子どもたちが植えやすいよう、前の花や草を引いて肥料を与えて、どこにどんな花を植えるかを考えておく。他の活動としては、伝統文化の礼法や組紐、着装、伊勢音頭を教えたりしているが、それを社会教育委員として行っているとは言えない。ただ、普段の活動の中で、これも社会教育なのだと思いを切り替えたり、活動時に社会教育委員の皆さんも一緒に参加しましょうというかたちに持っていければ良いのではないかと。</p>
岡島様	<p>花植えについて、子どもたちが植えやすい方法を考え実践されている。それは十分に社会教育。各大会で発表される他市の事例も、実は普段の活動である。社会教育委員としての活動ということであれば、学校の入学式などに社会教育委員として招いてもらったりすると子どもたちにも知られるのでは。</p> <p>他市の委員の話を知ると、他市の活動を参考にしていることが多々ある。いいなと思ったことは少しでも持って帰ってくると良い。</p>
委員	<p>環境会議の一員として小学校や幼稚園の出前講座に行くことがあるが、そのときに着物を着ていく。着物は代を超えて着られるし、浴衣は着られなくなったらおむつや雑巾にリサイクルすることができる。出前講座でもそういった自分のできる話をする。社会教育委員としてもそのような活動ができると良い。</p>
委員	<p>PTAに関わることが多いが、そこでは皆さんの悩みに沿った講演会を企画したりする。それも社会教育の一環だとわかった。最初は社会教育とはすごい取り組みをしないとイケないと考えていたが、そうではなく、地域や子どもに目を向けたらというちょっとしたことが社会教育だと感じた。ただ、社会教育委員が知られていないので、竜田委員がおっしゃるとおり、このメンバー主催で何か活動ができると良い。</p>
委員	<p>社会教育というものに対し、まだ絵が描けていない状況にあるが、このメンバーで活動することによってわかってくると思うので、そのような活動が今後</p>

	増えていくと良い。
委員	皆さんの意見を聞かせていただくと、普段から子どもと接しているようである。自分は労働組合の立場なので、子どもとのふれあいはあまりない。社会教育委員として1年が経過したが、何をすればいいのか、これからどうしていけばいいのかなかなか難しいと感じている。
委員	貴社では子どもを招いた職場見学などはするのか。
委員	今はできていないが、小学校の社会見学等している。
委員	そこに社会教育委員が参加するのも面白いのではないか。
委員	働いている若い方々と接する貴重な機会にもなるのでは。
岡島様	たくさんご提案をいただいた。まずは「社会教育委員のしおり」をバイブルとしてほしい。また、勉強会や研修会を委員の皆さんで企画してほしい。そのほか、津市では自主的に勉強会を行う中で「社教情報」を活用してくれている。まずは自分たちが社会教育を理解し、周りとも共有する。そして次の世代にこの想いを繋げていってほしい。ご近所でいいので、出かけていただき、疑問を持ったらそれを解消するために一緒に考えていってほしい。自分たちで、自主的に活動してほしい。
委員	社会教育委員を20年程務めている。当初はあまり意見が出なかったが、現在はたくさん意見が出るようになった。皆さん普段から様々な活動をされており、私は素晴らしい方々だと思っている。ただ社会教育委員の知名度はあまりないので、普段の活動の中でアピールするような、例えば名刺や挨拶で社会教育委員という肩書を載せるとか、知名度を高めていくことも大切。

(3) 報告事項

第63回全国社会教育研究大会石川大会参加委員による報告

質疑応答

委員	リモートで参加したが、質問がしづらく、やはり現地で参加するほうがやりがいもあり良いと感じた。分科会は、小松市の発表が勉強になった。記念講演は「御御御付と腸を考える」ということで、最初は読み方すわからなかったが、有意義な内容であった。今後コロナ禍が落ち着いたら、現地で参加したい。今回を経て、様々な会議にリモートで参加することができるようになり良かった。
委員	初めてリモートで参加した。式典の間はずっと石川県を紹介する音楽と綺麗な映像が流れており、非常に興味深かった。現場だとお手洗いに席を立ったりする時間だが、オンラインということでその時間もうまく県をアピールしていた。また、通常だと分科会発表は一種類しか聞くことができないが、オンラインだと二種類聞くことができ、それはよかった。子ども歌舞伎の

	<p>勸進帳を拝見したが、あの衣装をきちんと用意し、子どもが着られているという次に繋いでいく様子から、子どもへの伝統文化教育に力を入れていると感じた。私は小学校の運動会での発表に向け、児童に伊勢音頭を教えたりしているが、まだまだだと感じた。発表はオンラインだと発表者を間近に感じることができた。記念講演はとても面白く聞かせていただいた。</p>
委員	<p>事例発表を見ると、公民館関係の方が多い。この社会教育委員にも公民館関係の人が必要なのではないか。また、他市は公民館の主催イベントをしているところもある。伊勢市は公共施設では営利活動はできないのか。</p>
社会教育課長	<p>それぞれの施設に条例などがあり、それにもよってくるが、まったく禁止というわけではなく、状況によっては可能である。</p>
委員	<p>公共施設でのイベントの日常化や営利活動についての発表があり感心して聞いていた。</p> <p>伊勢市の社会教育委員の定数はわからないが、図書館関係や、子どもとの関わりを重視するなら幼稚園や保育所関係の方も参加してくれると視野が広がるのではないか。</p> <p>また、来年の南ブロック研修会での事例発表について、例年伊勢市の発表は私か竜田委員が多いのでスポーツや文化からも発表をしてほしい。飲食をともなう懇親会も開催したい。事務局がどれだけ動いてくれるか。</p>
委員	<p>自分たちですることが大切。</p>
委員	<p>飲食をともなう懇親会は、今年もまだ難しい。</p>
委員	<p>今後、コロナが収まってから考えていきたい。</p> <p>公民館でのリモートで参加した。記念講演の御御御付の話は、私は産婦人科医なので食事のことは気にしており、麴や日本食のすばらしさを学べてよかった。小松市は勸進帳の舞台なので、子ども歌舞伎も興味深く、できれば現地で拝見したかった。勸進帳で描かれる「智・仁・勇」が根付いた地域で、それが反映された大会であった。また、盛んに「SDGs (サステナブル・デベロップメント・ゴールズ)」という言葉が使われており、そういった視点でも今後の活動を考えていかないといけないと思った。</p>

(4) その他

委員	<p>社会教育主事の配置について、教育委員会はどう考えているのか。伊勢市は、社会教育主事はいるものの、この会議には出てきていないので、アドバイザーとして参加してほしい。</p>
事務部長	<p>年度の途中ですので、宿題としてお預かりしたい。今日の会議で、皆さんが社会教育委員としてどんどん活動していただくという意気込みを感じたので、行政としてもついていかないと感じている。</p>

委員	<p>未来の日本の人口予想をシミュレーションしてみた。50～60年先には日本の人口が半分になるといわれている。ここ20年、特殊出生率は1.3のままであり、このままでは2080年の日本の人口は5,800万人になる。</p> <p>ただ、人口が半分になることよりも、総人口のうち半分以上が60歳以上となる歪んだ構成が問題と捉えている。現在政府が様々な対策をしており、不妊治療を保険適用にしたら出生率があがるという意見もあったが、それはちがうと思う。今はコロナ対策が喫緊だが、それが収まったころには、日本の少子高齢化についてみんなで考えていきたい。今日は問題提起としたい。</p>
----	---